

ボバース記念病院 リハビリテーション部

2018年10月、ボバース記念病院は小児期・青年期発症の運動障がいを持つ方々に対して、生涯にわたり一貫した医療を提供する病院（脳性まひセンター）として生まれ変わりました。その特色は、医学的エビデンスに基づきつつ、その方の個性や生活状況に応じて多職種が連携して関わるきめ細やかな治療です。

生涯にわたるサポート



小児期・青年期発症の運動障害をもつ方々に対して、生涯にわたり一貫した医療を提供します。よりよい成長を通じて、その人がその人らしい生活を送れるよう各職種が協働的にサポートすることが私たちの役割です。

リハビリテーション部の特徴



卒後教育の充実

新人教育をはじめ、定期的な勉強会を実施し、段階的にスキルアップができる環境です。



多職種協働

各職種の専門性を共有し、患者さんがより良い生活を送れるように支援します。



実技練習

当院に所属する小児ボバース講習会インストラクターから助言を受け、小児分野の専門性を深めることができます。